

ナシの新品種「秋麗（しゅうれい）」を紹介します

～くまもとイチ押しブランドづくり～

県では、熊本県のイチ押しブランドづくりの一つとして、ナシの新品種「秋麗」を対象に、生産から品質管理までの取組みに対し支援しています。

この「秋麗」が、本年産から熊本ならではの高品質ナシとして、東京、大阪、熊本等で本格販売されることから、今回「秋麗」の特徴等について紹介します。

【概要】

「秋麗」とは

平成15年に品種登録された、国育成の品種。

際立つ甘さが特徴のナシ。加えて、品のよい香りを備えていることから、食味が極めて優れている。また、西洋ナシをイメージさせる独特の果皮も特徴の一つ。

栽培されている産地

熊本県下で約10ha

球磨地域、八代地域、鹿本地域、菊池地域

熊本県以外に栽培実績なし（H19年産時点）

販売期間

8月中旬～9月初旬

今年販売予定数量

14t

販売先

関東・関西・熊本県内

東京：新宿高野、伊勢丹等

大阪：イカリスーパー等

熊本：鶴屋百貨店等

（参考）平成21年産JA熊本果実連販売実績

秋麗：529円/kg（1玉当たり最高小売販売単価：840円）

県の支援策

平成21年度から「魅力あるくまもとブランド園芸産品づくり推進事業」を開始し、産地における生産・出荷等、品質管理体制づくり（収穫基準の設定、光センサーでの糖度別選果、実需者との意見交換等）を支援している。



「秋麗」の販売期間

8月			9月
上旬	中旬	下旬	上旬
幸水			
	秋麗		
		豊水	